

in
横浜



舞鶴引揚記念館

ユネスコ世界記憶遺産 登録資料展示

2021.3.17 wed



2021.3.23 tue

10:30 ~ 19:00

※17日は11:30開場、23日は17:00に終了。

会場：横浜赤レンガ倉庫1号館
2階スペース

住所：〒231-0001

神奈川県横浜市中区新港1-1-1

【主催】 京都府舞鶴市

舞鶴市世界記憶遺産保存活用推進委員会

【後援】 横浜市教育委員会

入場無料



舞鶴引揚記念館

〒625-0133 京都府舞鶴市字平 1584 番地
TEL.0773-68-0836 FAX.0773-68-0370
URL:m-hikiage-museum.jp



～引き揚げの記憶と平和への願いを世界へ! 未来へ!～

舞鶴引揚記念館 全国巡回展 in 横浜

本巡回展では、舞鶴市が所蔵する「シベリア抑留」と「引揚事業」に関する資料が平成 27 年 10 月にユネスコ世界記憶遺産に登録されたことを契機として、全国の引揚港との連携、協力のもと、薄れゆく引き揚げの歴史と平和の願いを国内外に発信する事を目的に開催しています。

第 2 次世界大戦の終結に伴い、60 万人を超える日本人がシベリアをはじめ、旧ソ連全土の 1800 か所以上の収容所に抑留され強制労働を強いられた史実や、海外に残された多くの軍人、民間人を帰国させるため、引揚港に指定されたまちが、海外からの引揚者約 630 万人を受け入れた史実について紹介します。



シベリアでの服装



白樺日誌



スケッチブック



回想記録絵画 (作者:木内信夫)



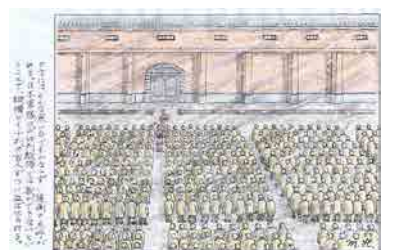
手作りの麻雀牌



『岸壁の母』が
息子に宛てた手紙



手作りのメモ帳



回想記録絵画 (作者:羽根田光雄)



舞鶴引揚記念館について

舞鶴引揚記念館は昭和 63 年 (1988)、多くの引揚者が祖国への第一歩を踏みしめ、人生の再スタートを切った舞鶴市平の地に、日本全国からの寄付金を受け設立したものです。日本本国への苦難に満ちた引き揚げと筆舌に尽くしがたい旧ソ連領内の抑留生活の歴史を後世に伝え、平和の尊さを世界に発信しています。戦後 70 年を迎えた平和 27 年 (2015)、その収蔵資料の中から 570 点が、特に希少性が高く、世界的にも重要性を持ち、広く世界の人々が共有すべき資料として、ユネスコの世界記憶遺産に登録されました。

横浜赤レンガ倉庫 アクセス

電車でお越しの方

- ・ JR・市営地下鉄「桜木町駅」より自動車道経由で徒歩約 15 分
- ・ JR・市営地下鉄「関内駅」より徒歩約 15 分
- ・ みなとみらい線「馬車道駅」または「日本大通り駅」より徒歩約 6 分
- 「みなとみらい駅」より徒歩約 12 分

車でお越しの方

- ・ 首都高速横羽線を横浜方向へと進み、「みなとみらい」または「横浜公園」で下車。
- ・ 横浜ベイブリッジを渡る場合は、首都高速湾岸線を経由して「みなとみらい」にて下車。

